



夕刊
発行所 小名濱町吉野一丁目
電話 一〇六番
定額 一月三十三円
一月三十三円
一月三十三円
一月三十三円

資生堂
小名濱町
電話 一〇七番

吉之助、岩崎兼平、成瀬敏治、清野とみで名前を告
部長氏方日雁永盛秀吉(三)
は今日平検事局で大脇
平取調への上司並に住居
侵入罪で起訴された、同人
は附近の長屋から時計衣類
等其の他百餘圓分を荒し廻
つたもの

街頭献金募集
三町二十三銭
平第一校五年生二組齋藤
エ子、藤井光子さんの二人
は街頭に立つて献金募集を
なし三町二十三銭の恤兵金
を市役所に寄託した

練習用銃器購入資金造成案

小名濱實業学校後援會危ぶまる

寧ろ郷軍分會主体が至當の聲高まる

小名濱實業学校長西山直三も亦に迷ふ状態となつた、と共に一般電報も
耶氏の腹案計畫に成る練習用銃器購入が町會議員の意向を綜合取扱ふ事になり残る一つは
用機關銃及び小銃を購入して見ると廣義的な青年學三等局への昇格だが、それ
べく資金造成を目的として校とせず實業学校とした事も本年中には實現するもの
小名濱實業学校後援會なるは校長の専横を恣にする爲と見られてゐる
町會に會長小野澤副會長町會議員が寄附集めると
高木保、委員町會議員の委託は在郷軍人分會を主体と
囑狀を交付し協力を町長に依頼し銃器を購入し青
より議員に計つたが、議員年學校に保管せしむるか
中より實業学校と局限する町役場に保存するかの方策
事は不都合である青年學校に出た方が使用上にも便宜
でなければならぬ、と半應である、の意見が多數を占
が入り町長も疑義があるため、西山校長の面目問題と
して保留する事とし、副會長に重責を委ねた、因
長に擬すられた高木保氏は資金造成は有志家の寄附
その器でないとし、副會長に待つもので約二千五百圓
を受け町議に交付した委を撤換するものである

日本水素工場

末廣専務初巡視
日本水素工業専務取締役
就任せる末廣専務は今日九
日來小工場建設状態を初巡
視する

町の愛嬌者「三ちやん」

家出したが好間川で溺死

無言の凱旋

本郡關係の柱
兩角部隊三十五柱の殉國の
英靈は九日午後十時二十八
分着原隊に無言の凱旋をす
るが地方關係は次の二勇士
▲上等兵星野高夫(下小
川) ▲伍長高木惠三(警
備)

小名濱特別税戸數割

町會タツタ二日でオーケ

小名濱町特別税戸數割附加議了済で、たつた二日で萬
審理町會は九月六日召集七事オーケ
日は休議八日は午後二時頃

防寒外套献納

一昨年の拂下品を儘で

武園藝教諭

横濱實業へ轉任
小名濱實業教諭武園藝先生
は横濱市大綱實業學校教諭
として轉任する事になり九
月十日午前八時小名濱を出
發する、小名濱校に教鞭を
とること五ヶ年に及んだ

鹿島郵便所改築成

電信、電話も取扱開始

本年中に三等局昇格か

鹿島村には現在の郵便所の新築成り七月一日より開
を三等郵便局への昇格運動所と共に電話の新設も見
を繼續し一面郵便局舎は一進退で呼出し鹿島中の誰れ
千五百圓を投じモダン局舎でも通話が出来るように

滿洲移民義勇軍に

小名濱町御代、古山兩君拔擢

歡送裡に十四日午前六時出發

滿洲青年移民義勇軍としてする大陸開拓先鋒隊である
小名濱町御代君古山勇藏
君が拔擢され来る十四日午前
前六時半小名濱町役場前
り出發する事になつたが、
町役場に於ては出征軍人同
機町民多量歡送する向通知
したが兩君は水戸内原訓練
所に半年の訓練を受け渡瀟

小名濱町役場樓上

性能優秀のラヂオ取付け

長屋荒しの
永盛起訴

小名濱町役場には非常時
局下殊に防空演習等に刺戟
され今回性能優秀なるラヂ
オを役場樓上に取付ける事
内郷村大字白字濱井場阿

募集

一、仲仕數名

身体強健の人を求む
希望者至急來談されたい

江運送店

小名濱町電話一〇六番

天気豫報
今日 北の風曇り一時晴
明日 同

小名濱名物の豫報狂者
關東が廿年振りの暴風雨に
見舞われて未だ減水もせず一



港の聲

りて先日の關東襲來の暴風
雨にはラヂオの豫報を徹夜
聴取して其タイ風位置を書

森合齒科
口腔外科 齒科一般
院長 森合芳男
電話植田七十一番

花柳病科・皮膚科
石井醫院
電話十八番

家政婦會員大募集
久保田家政婦會
會長 久保田イネ
電話二十二番



鳥の飛ぶ

磐城水産株式會社
三井生命保險株式會社
大正火災保險株式會社
代理店

陣出同合家大曲演
東家樂 東家樂 廣末友若

銘玉の井
長瀬彰義釀造元
玉川村林城